

三重県私費外国人留学生奨学金留学レポート

シェルパ ダワさん

四日市大学 環境情報学部環境情報学科

2019年1月更新

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

私は環境情報学部で自然環境を専攻しています。自然の中で起きる様々な環境問題について勉強しています。最近、四日市大学の周りにある竹藪の健全度を調査しています。現在の日本では、きちんと管理されていない山々も多いので、どんどん竹が増えているという状況があります。実際に山に入って、自分の目で調査しデータを取って、パソコンで分析しています。

・日本を留学先として選んだ理由は何ですか。

自国で高校生の時、少し日本のことを勉強しました。その時、日本は 1945 年に戦争に負けた後、短期間で飛躍的に経済成長していることを学びました。また、環境問題の対策にも積極的に取り組んできたことを知りました。自分はその時から、日本に留学して、日本はどうやって発展したか、その方法や技術を学ぶために日本に留学をしました。

・留学後の日本の印象は、留学前と比べてどのように変わりましたか。

留学前は、日本は経済的に強い国だから、日本国民はあまり仕事をせず、ゆっくりとくつろいで生活していると思っていたのに、実際日本に来たら、日本人はあまり寝ないで世界中で一番よく働いているのではないかと思うくらいよく働くので、びっくりしました。その上、日本文化は、食を初めとして世界遺産も多く、豊かであることに感動しました。

・出身地(気候、名所、名産、三重県からの行き方、三重県とのかかわり等)について

私の出身地はネパールの西の方にある、ラメチャップ村というところです。昔から、エベレストに登る人々が登る前に宿泊した、自然が豊かなことで有名なところです。高地にあるので、米は育ちません。主に、ジャガイモと麦を生産し、それらから作られた料理が有名です。

三重県から私の生まれたところまで行くには、まず四日市からバスで中部国際空港まで行き、飛行機で中国やタイ、シンガポール、香港などで乗り換えて、カトマンズまで行きます。約 9 時間かかります。そして、カトマンズから 10 時間くらいバスに乗ると、ラメチャップに着きます。ラメチャップ村は、人の優しさや自然が豊かで温暖な気

候が三重県とよく似ています。

・前期に、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

8月初め、三日間かけて伊勢湾海洋調査に参加しました。船に乗って、ゼミの先生や仲間と一緒に海の上で生活をしながら、海洋の生物やCTDやマイクロプラスチックや海の透明度などの調査をしました。海洋の調査が終わったあと、四日市コンビナートのまわりの海でも、同じく調査をしました。

2018年10月更新

・あなたの留学の目的は何ですか。

私は高校生の時、日本について色々勉強しました。一番関心を持ったのは、第二次世界大戦後の短期間で飛躍的に経済発展を遂げ、また環境問題への対策にも取り組んできた事です。また、ネパールの大学で学んでいた時に、大阪大学から「ネパールにおける道とシェルパの人類学的研究」をするために来ていた古川不可知さんと出会い、そのような研究があることに驚き、もっと自分の世界を広げれば私が存在する意味が見つかり、人生をかけた勉強が出来ると思い、仕事を続けながら勉強を重ね日本に行くことを目標にしました。日本への留学が叶い、将来は、日本で学んだ日本の技術をネパールの人々に伝え、自国に貢献したいと思います。

・専攻している(する予定の)科目の学習内容について書いてください。

私は、環境情報学部環境情報学科で自然環境を専攻しています。自然の中で起きている様々な環境問題について勉強し、その解決策などを論理的に勉強して、現場で実際に学んでいます。例えば、実際に山に入って、ブナやコナラが枯れている状況を調査したり、最近、世界中で大きな問題になっているマイクロプラスチックのことに、海に行って調査をしたりしています。

・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

四日市大学は、専門学校先生から紹介してもらいました。入学願書は、当時の専門学校の先生からいただきました。出願書類には、自国の高校、大学と日本語学校、専門学校の成績証明書、卒業証明書が必要でした。入学試験は、作文を読んで意見を述べる日本語小論文と面接がありました。

・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。

私は、環境問題に興味があったので、専門学校の先生と相談したら、環境情報学部のある四日市大学を紹介してもらい、ホームページで調べたり、四日市大学のオープンキャンパスに参加しました。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

ネパールでは、最近、ゴミの問題が大きな問題となっています。それに比べ、日本はゴミの分別もしっかり行われており、とても綺麗です。自国も日本のように綺麗にしたいと思うので、環境情報学部のある四日市大学で学びたいと思ったのと、専門学校が四日市にあったので、生活も慣れていたこともあり、四日市にある四日市大学に決めました。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

日本で最近話題になっている、動物が作物を荒らして被害を受けているいなべ市に行き、ハンターと一緒に駆除の活動をしました。また、6月にはゼミの先生と一緒に三重の海岸へ行き、清掃活動やマイクロプラスチックなどのゴミの分布を調査しました。